

令和2年度上半期の業務状況

1 事業の概況

上半期における業務量は、次のとおりである。

(1) 用水供給の状況

区 分	業務予定量	上期業務量	上期業務量／予定量
年間供給水量	9,023,000m ³	3,909,670m ³	43.3%
一日平均供給水量	24,721m ³	21,364m ³	86.4%

(2) 建設事業の状況

令和2年度は上半期において、送水管布設予定箇所の実施設計及び土質調査の委託並びに布設工事、当別浄水場の実施設計及び土質調査等の委託並びに浄水池新設工事及び機械設備工事に着手した。また、札幌ポンプ場・分水施設用地において確定測量の委託等を行った。

2 経理の状況

上半期における経理の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

区 分	予 算 額	上期執行額	割合
用水供給事業収益	1,942,538千円	481,052千円	24.8%
用水供給事業費用	1,946,484千円	289,862千円	14.9%

(2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額	上期執行額	割合
資 本 的 収 入	1,752,787千円	305,945千円	17.5%
資 本 的 支 出	2,580,130千円	437,608千円	17.0%

[備 考]

一時借入金残高 0円 (令和2年9月30日現在)

企業債未償還残高 13,962,068,104円 (令和2年9月30日現在)

I 令和元年度石狩西部広域水道企業団水道用水供給事業決算の概要

本年度の水道用水供給事業は、用水供給開始7年次目として、安全で安心な水を安定的に供給するため、現有施設の適切な維持管理等を実施するとともに、第2期創設事業の3年次目として、浄水場及び送水管の実施設計、測量調査及び土質調査等の委託を行った。

なお、令和元年度決算の概要は、以下のとおりである。

1 予算の執行

(1) 収益的収入及び支出

収入では、

予 算 額	決 算 額	予算額に対する増減△	収 入 率
円	円	円	%
1,913,163,000	1,910,494,950	△ 2,668,050	99.9

支出では、

予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
円	円	円	%
2,021,917,000	1,909,713,022	112,203,978	94.5

となり、収益的収入支出差引において、予定不足額108,754,000円に対し、決算では781,928円の残額で、差引109,535,928円の好転となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入では、

予 算 額	決 算 額	予算額に対する増減△	収 入 率
円	円	円	%
39,410,000	31,448,000	△ 7,962,000	79.8

支出では、

予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
円	円	円	%
989,117,000	968,805,019	20,311,981	97.9

となった。

2 建設改良事業の概況

建設改良費の総額は、160,258,668円で、この内容は、

創設事業費 152,972,034円

固定資産取得費 7,286,634円

となった。

3 業務の概況

供給水量等については、

区 分	業 務 量
年 間 基 本 (有 収) 水 量	9,020,610 m ³
年 間 供 給 水 量	7,787,452
1 日 最 大 供 給 水 量	24,180
1 日 平 均 供 給 水 量	21,277

となった。